



新年のご挨拶

ジェネラルマネジャー

藤本 利夫
MBA, MD



昨年は何とも特別な年になりました。パンデミックによって生活様式が根本的に変わるという、歴史的な瞬間に生きていることを実感された方も多かったのではないのでしょうか。

わずか12カ月で起こった世界の変化には目を見張るものがありました。現在、世界のどの国においても、ヘルスケアが最大の関心事となっていることは間違いありません。新型コロナウイルスに対するワクチンが開発され、いくつかの国ですでに利用できるようになったという、新薬開発の驚くべきスピードは、「サイエンスが、実用的なソリューションを生み出すだけでなく、世界中の人々に希望をもたらす」ことを感じさせるものでした。

パンデミックの間も、湘南アイパークの皆様は、日々研究を推進されていました。入居者およびメンバーを対象とした調査(2020年7月時点)によると、感染対策に腐心しながらも、研究の歩みを止めないために、実に7割近くの研究者が湘南アイパークに出勤していらっしやいました。感染予防のため、実験に割く時間や人数をしばらくながら、自宅ですることとラボですべきことを選びすぐり、研究を止めないために全力を尽くしておられたのです。

【湘南アイパークにおける最新の新型コロナ対策は[こちら](#)でご確認いただけます。】

昨年さまざまな場で申し上げましたが、パンデミックの環境下でもオープンイノベーションはますます進んでいきます。実際、2020年は、オープンイノベーションネットワークが、サイエンスおよびビジネスに対してどれだけ貢献しうるか、明示された年となりました。

2021年度、湘南アイパークは開所から4年目を迎えます。今日、湘南アイパークは、日本、アジア、そして世界の研究者が集い、バーチャルとリアルの両面でイノベーションを加速させるコミュニティとなっています。私たちは今後も、エコシステムの構築を加速させるためのさまざまなイニシアチブを推進してまいります。

ご挨拶の最後になりますが、わたくし藤本は、湘南アイパークのジェネラルマネジャーを引き続き務めるとともに、2021年1月より、武田薬品のグローバル・パブリック・アフェアーズ ヘッドに就任いたしました。世界のイノベーション政策に触れる中で、イノベーション現場の声を発信し、政策をダイナミックに動かすモメンタムの一助となり、湘南アイパークのネットワークもさらに広げていければと願っております。

今後も、皆様とともに、産官学民の垣根を超えるライフサイエンス・イノベーション・コミュニティを創るべく、引き続きご一緒させていただきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。